



平成 29 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 日 立 マ ク セ ル 株 式 会 社
代 表 者 名 取 締 役 社 長 勝 田 善 春
(コード番号：6810 東証第一部)
問 合 せ 先 ブ ラ ン ド 戦 略 統 括 本 部
コーポレートコミュニケーション部
(TEL. 03-5715-7061)

平成 29 年 3 月期累計期間の連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 4 月 28 日に公表した平成 29 年 3 月期連結累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値に、下記の通り差異が生じたのでお知らせします。

記

1. 平成 29 年 3 月期連結累計期間の業績予想と実績値の差異

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 140,000	百万円 6,000	百万円 5,600	百万円 3,900	円 銭 73.81
今回実績 (B)	135,116	7,567	7,387	5,724	108.32
増減額 (C)=(B)-(A)	△ 4,884	1,567	1,787	1,824	
増減率 (%) (C)/(A)	△ 3.5	26.1	31.9	46.8	
[ご参考]前年実績 (平成 28 年 3 月期)	156,216	7,306	6,697	3,931	74.39

2. 業績予想と実績値に差異が生じた理由

売上高は成長分野製品が堅調に拡大しましたが、主に熊本地震の影響によるプロジェクターの生産数量不足の影響、民生用リチウムイオン電池の販売減などから当初予想比 3.5% (4,884 百万円) 減の 135,116 百万円となりました。

営業利益はプロジェクターの機会損失や円高の影響がありましたが、成長分野製品の増収効果やコンシューマー製品のプロダクトミックスの改善効果に加えて、引き続き原価低減に努めた結果、予想比 26.1% (1,567 百万円) 増の 7,567 百万円となりました。経常利益は為替変動の影響がありましたが、予想比 31.9% (1,787 百万円) 増の 7,387 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は予想比 46.8% (1,824 百万円) 増の 5,724 百万円となりました。

以 上